夜景の魅力を再発見

輝く夜の宝石箱

夜を彩るまち明かり。
鏡のように明かりが映り込む海。
月明かりに照らされた海岸線。
室蘭八景の一つ「室蘭港の夜景」をはじめ、
私たちの身近には美しい夜景がある。
港まち室蘭ならではの夜景巡りに出かけよう。

工場群や商店街、住宅街などに明かりがともる夕暮れ時。港には白鳥大橋が、見上げるとライトアップされた測量山が輝き始める。

見慣れた街路灯や商店、住宅の明かりも、高台から見下ろすと、室蘭の夜景の一部。

海に囲まれ、高台が多い地形であるがために、工場は湾岸沿いに、住宅は沢沿いに密集し、光と暗闇にはっきりと分かれる。海が鏡のように穏やかな日は、まちの明かりが、室蘭港の海面に美しく映り込む。これらが織り成すきらびやかな夜景は、工場・まち・海・山がそろう港まち室蘭ならではの美しさ。

室蘭の夜景に欠かせない存在である東日本最大のつり橋、白鳥大橋。これほど大きな建造物のライトアップは、ほかではなかなかお目にかかれないだろう。闇に輝くその大きな姿は、その名のとおり、羽を広げた白鳥が、真珠のネックレスをかけているかのよう。

また、測量山の山頂で色鮮やかに青や緑などの照明でライトアップされるテレビ塔。昭和63年から、市民団体の室蘭ルネッサンスが、市民からの寄付金で、1日も休むことなく点灯を続け、市街地から眺める室蘭の夜景の一つとして、市民に定着している。

さらに、高さ100メートル級の断崖絶壁が14キロメートル以上も続く外海に面した海岸線は、月明かりに照らされ、自然が作り出す幻想的な夜景を演出する。

昼間とは全く別の顔を持つ夜の室蘭。絵鞆町から東町まで延びる観光道路から見えるのは、まるで映画のワンシーンのような美しい夜の光景。

夜の室蘭は、まるで宝石箱のような魅力がある。

室蘭の夜景は道内一の美しさ

夜景写真を撮影し始めたのは、浜町（現在の中央町）が賑わっていた20代のころ。人が行き交い、きらびやかなネオンに彩られるまち並みに魅せられました。以来、さまざまな夜景を撮影し続けて50年。道内各地の夜景を撮影しましたが、室蘭の夜景が最も魅力的。工場とまちの明かり、白鳥大橋や測量山のライトアップだけでなく、海と山とまちが織り成す夜景は「贅沢（ぜいたく）」の一言に尽きます。

写真の撮影は、徒歩で移動。視力が低下したため、5年前から車は運転していません。室蘭は、どこから見ても素敵な夜景を見ることができますが、中でも測量山からの眺めが一番好き。展望台へは、中央町までバスで行き、20分かけて歩いて行きます。撮影場所までの道のりを歩くようになると、車では、あっという間に通り過ぎてしまう場所からも、良い景色を眺めることができることに気が付きました。

湾の内側に建ち並ぶ工場やまち並みといった、人工的な建造物とは対照的に、砂浜や断崖絶壁が続く外海の海岸線も室蘭ならでは。月明かりに照らされた海岸線は、夜景としても一級品。秋には水平線に点在するイカ釣り漁船のいさり火が、海岸線の夜景に花を添えます。

美しい夜景は身近にあります。遠くに出掛ける前に、市内の展望台を訪れてみてください。きっと室蘭を見る目が変わりますよ。

全日本写真連盟室蘭支部
支部長　池内宏好（いけうちひろよし）さん

72歳。写真好きが高じて、平成5年から全日本写真連盟室蘭支部会員として活動。主に室蘭市内の風景写真を撮影。数々の写真コンクールで好成績を収めている。

測量山展望台から眺める中央町周辺。まちに明かりがともり、夕闇が迫るころ、夜景は見ごろを迎える。水平線上のいさり火と、月の淡い光が、夜景の美しさを一層引き出してくれる。（撮影：池内さん）

重さ約3キロの三脚を担ぎ、展望台への階段を上る池内さん

市で開催している夜景見学会が好評

測量山展望台や祝津公園展望台など、室蘭市おすすめの夜景スポットをバスで巡る夜景見学会が、毎年、定員を超える人気ぶり。

車を運転しない、引っ越してきたばかりという人のほか、室蘭で長年暮らしている人も、見学会に参加して、夜景の美しさに大変感動していただいています。

5年前に帯広から引っ越してきて、昨年親子で参加された工藤さんに、夜景見学会の感想を聞いてみました。

昨年の夜景見学会で訪れた祝津公園展望台での記念撮影

工藤久子さん（前列中央）
光惺くん（前列右から３人目）
光稀ちゃん（久子さんのひざの上）

坂の多い町ならではの夜景に感激

見学会に参加して初めて「見る場所を知らないだけだったんだ」と分かりました。帯広は平坦な土地なので、高台から夜景を見るという意識がありませんでしたが、室蘭は坂が多く、見上げることや見下ろすことで、さまざまな景色を見ることができる、とても夜景の美しいまちですね。

夜にひときわ目立つ白鳥大橋のイルミネーションや測量山のライトアップはきれいだとは思っていましたが、なかなか夜のまちを観光して回る機会がなく、いつも同じ場所から見ているだけでした。

昨年、初めて参加した夜景見学会で、夜景がきれいに見える場所がたくさんあることに驚きました。見慣れている白鳥大橋も、見る場所によって印象が変わるんですね。

その後、市外に住む姉や友人が室蘭に遊びに来たときに見学したコースを案内したところ、とても喜んでもらえましたよ。

夜景見学会の参加者募集

今年は10月１日㈭に開催。
参加は無料。
時間は18時から21時までを予定。
定員は24人。定員を超えた場合は抽選になりますが、初めて参加される人を優先します。
申し込みは、９月15日まで電話で。

《申込先》市民対話課 ☎㉕2193

見た美しさを記録に残そう

コンパクトデジタルカメラで夜景撮影

見に行った美しい夜景。せっかくなら思い出として写真に残しておきたいもの。
夜景は一眼レフカメラで撮影することが一般的ですが、手軽なコンパクトデジタルカメラでも夜景を写真に残すことができます。

用意する物　カメラ、三脚
※三脚がない場合は、カメラが安定する物の上に置いても撮影できます。

①三脚を設置
安定する場所（水平な地面が望ましい）に三脚を設置。

②カメラを設定
シャッターを10秒程度のセルフタイマーに設定。シーンモードに「夜景」など、夜景を撮影する機能がある場合は、この機能を選択。無い場合は、撮影モードを「マニュアル撮影」に、ＩＳＯ感度を「400」以下に、ストロボの発光を「発光禁止」に設定。

③シャッターを切る
三脚にカメラを設置し、写したい構図を決めて、写す対象にピントを合わせたら、シャッターボタンを押す。カメラのシャッターが閉じるまで数秒待つと、夜景写真のできあがり。

コンパクトデジタルカメラで撮影しました

応用編

夜景を背景に人物の記念撮影

基本は前述の撮影方法と変わりませんが、ストロボを使う必要があります。

シーンモードにある「夜景＆人物」や「スローシンクロ」など、夜の人物写真を撮影する機能を使います。この機能が無い場合は、前述の②でストロボの発光を「常時発光」に設定すると、同じ効果が得られる場合があります。

なお、最も注意しなければいけないのは、写される人が動いてはいけないこと。カメラのシャッターが閉じるまでは数秒間かかる場合があるため、動いてしまうと背景はしっかり写っているのに、人物だけがぶれた写真になってしまいます。

※カメラのメーカーにより用語などが異なります。詳しくは使っているカメラの取扱説明書をご覧ください。

輝く夜の宝石箱

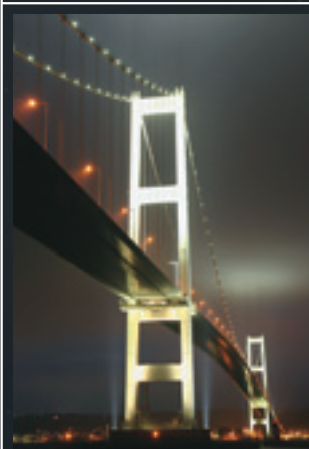
写真で伝える 港を彩るまち明かり

市内に数多くある夜景スポットの、主だった場所で撮影した写真をご覧ください。手軽に行ける展望台のほか、観光道路などから眺める夜景はとってもロマンチック。また、夜景を眺めに訪れると、波の音などその場の雰囲気が美しさを一層引き立たせてくれます。

夜景の美しさを伝えるため、フルカラーで写真を紹介します。
特集記事は、通常、巻頭に掲載しますが、保存用としてもご利用いただけるよう、本紙中央のページに掲載しました。
港町室蘭の夜景をご堪能ください。

地球岬灯台と水平線に輝くいさり火

絵鞆臨海公園に映し出される白鳥大橋

測量山からの展望は夜景も美しい

夜空を照らす白鳥大橋のライトアップ

御前水町の観光道路から眺める室蘭港
「室蘭港の夜景」は室蘭八景の一つ

ンなど）の製造装置と発電
ク」。設備から出る余剰ガ
定期点検のほか、災害時な
・放出する仕組み。写真は、
中に撮影。

輪西町周辺のまち明か

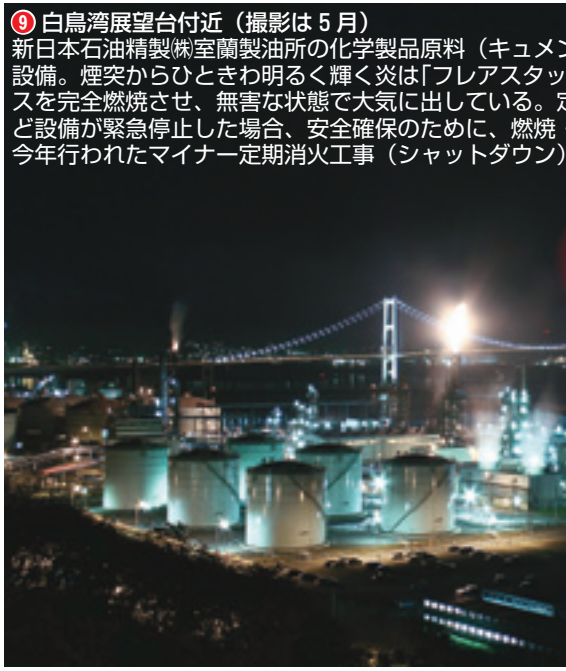
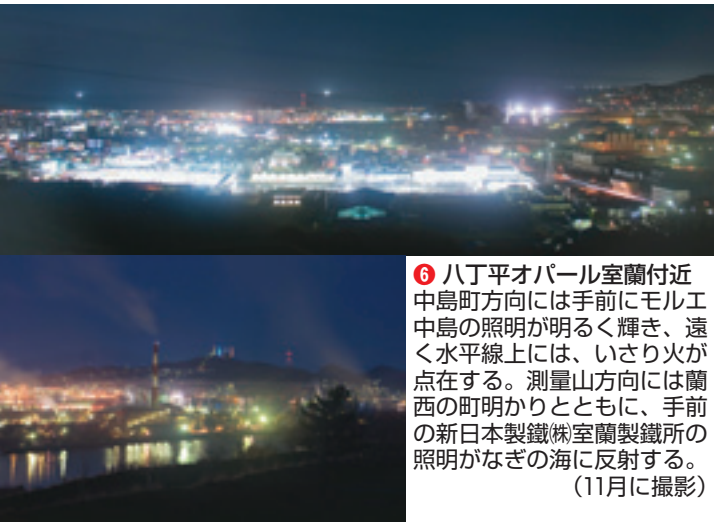
⑧ 白鳥台１丁目

② 鍋島山山頂
白鳥大橋と新日本石油精製㈱室蘭製油所の照明が室蘭港に映し出される。白鳥台のまち明かりの向こうは伊達市のまち明かり、さらに遠くには有珠山と羊蹄山のシルエットが浮かぶ。

東　南　西

地球岬灯台

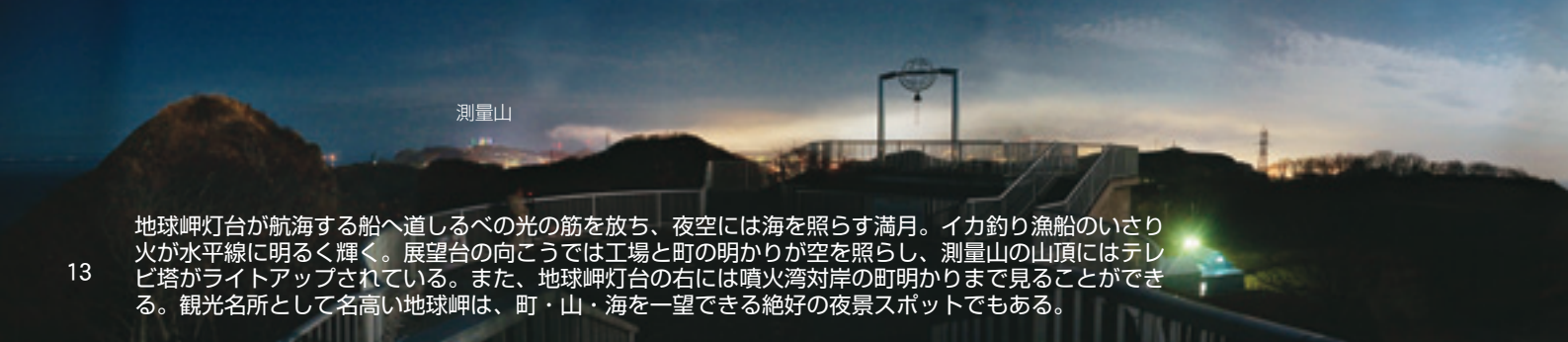
輝く夜の宝石箱

⑤ トッカリショ展望台
室蘭八景の一つ「トッカリショの奇勝」。月明かりに照らされた断崖絶壁とイタンキ浜の向こうに、まちが明るく輝く。

⑨ 白鳥湾展望台付近（撮影は５月）
新日本石油精製㈱室蘭製油所の化学製品原料（キュメン
設備。煙突からひときわ明るく輝く炎は「フレアスタッ
スを完全燃焼させ、無害な状態で大気に出している。定
ど設備が緊急停止した場合、安全確保のために、燃焼
今年行われたマイナー定期消火工事（シャットダウン）

⑥ 八丁平オパール室蘭付近
中島町方向には手前にモルエ中島の照明が明るく輝き、遠く水平線上には、いさり火が点在する。測量山方向には蘭西の町明かりとともに、手前の新日本製鐵㈱室蘭製鐵所の照明がなぎの海に反射する。
（11月に撮影）

⑦ 八丁平展望台
白鳥大橋の全景が左右対称に見える展望台。写真右下には本輪
りが見える。

③ 入江臨海公園

① 祝津公園展望台

④ 地球岬展望台からの360度パノラマ（11月に撮影）

地球岬灯台が航海する船へ道しるべの光の筋を放ち、夜空には海を照らす満月。イカ釣り漁船のいさり火が水平線に明るく輝く。展望台の向こうでは工場と町の明かりが空を照らし、測量山の山頂にはテレビ塔がライトアップされている。また、地球岬灯台の右には噴火湾対岸の町明かりまで見ることができる。観光名所として名高い地球岬は、町・山・海を一望できる絶好の夜景スポットでもある。

まちかどの小さな夜景

モニュメントのライトアップや
イルミネーション、
街路灯の明かりも夜景の一つ。
高台から見た大きな夜景を形作る
小さな夜景の一つひとつが、
まちを彩り、行き交う人の目を
楽しませてくれます。

★道の駅「みたら室蘭」周辺
羽を広げたカモメと、帆を張ったヨットの街路灯が光を放ち、港沿いを道案内しています。

★ＦＵＲＡＩ（ＮＨＫ室蘭放送局敷地内）
平成５年にＮＨＫ室蘭放送局がリニューアルを記念して設置した鉄の造形作品。室蘭出身の「鉄のゲージツ家」篠原勝之さん（クマさん）が製作しました。ＦＵＲＡＩ（＝風来）は、製作者のクマさんが名付け親。デザインは、室蘭の風をイメージして表現し、室蘭に元気を出して欲しいという願いが込められています。

★東室蘭自由通路
ガラス張りの東・西口から漏れる照明が、明るくまちを照らします。写真は、平成19年12月に行われたイベント「むろらん夢キャンドル」開催日に、西口側から撮影。

★月明（輪西７条通りグリーンモール内）
昭和58年、地元の要請に応えた㈱新日本製鐵室蘭製鐵所が寄贈したもの。高炉の煙突と月をイメージしたモニュメントは、冬季間、グリーンモールのイルミネーションとともにライトアップされる。

★本輪西汚水中継ポンプ場（本輪西町国道沿い）
室蘭にゆかりのある「プロビデンス号」をイメージした外観が夜にひときわ白く明るく輝き、貯水池にも美しい姿を映し出します。ライトアップにかかる電気代は、本輪西港北地区活性化促進会が負担し、プロビデンス号のＰＲに一役買っています。